

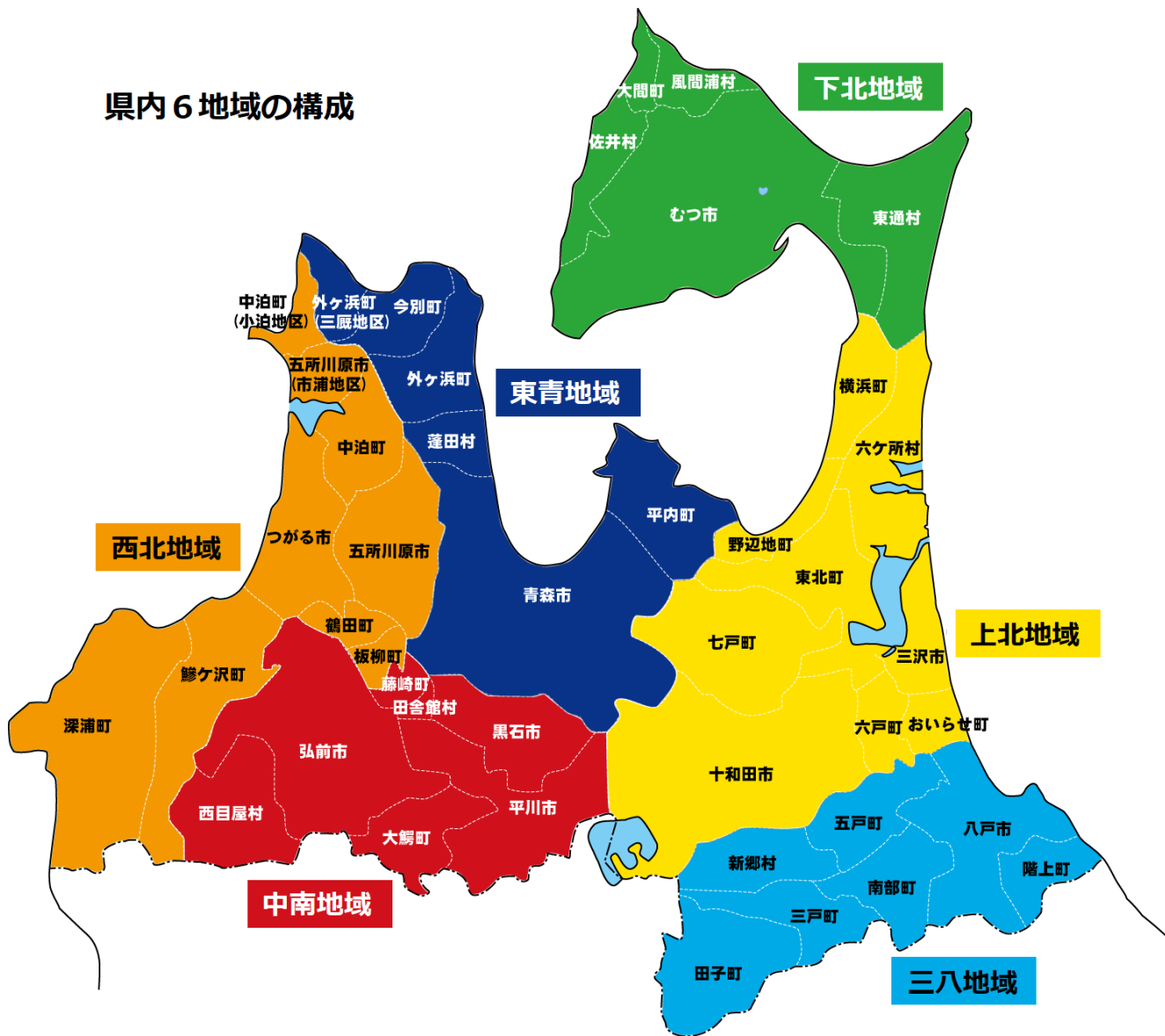
04

地域別情報

青森県は、東青地域、中南地域、三八地域、西北地域、上北地域、下北地域の6つの地域で構成され、地域ごとに産業や風土など様々な特色があります。

ここでは、地域の産業構造の比較やその特長を紹介するとともに、地域別の主な指標について掲載します。

県内6地域の構成



地域別情報

地域別の 産業構造

- [地域別域内総生産 経済活動別構成割合](#)

産業別にみる 地域の特長

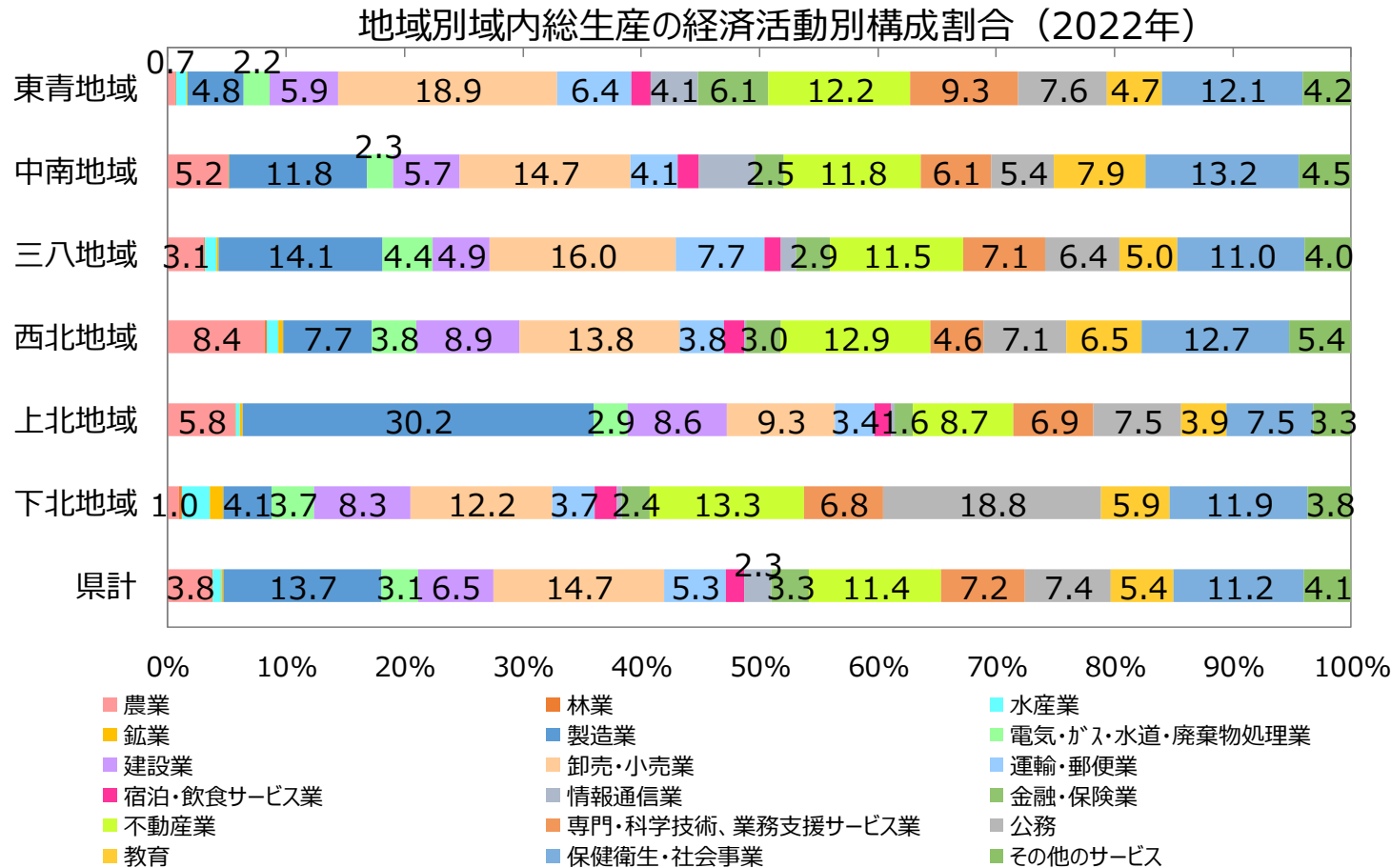
- [農業の盛んな上北・中南・三八・西北地域 …地域別農業産出額と農業経営体数](#)
- [水産業の盛んな東青・三八・下北地域 …地域別海面漁業漁獲金額と漁業経営体数](#)
- [製造業の盛んな三八・上北地域 …地域別製造品出荷額等と1人当たり製造品出荷額等](#)
- [商業の中心地・東青地域 …地域別卸売業・小売業の年間商品販売額](#)
- [観光客が多く訪れる三八地域 …地域別観光入込客数](#)
- [1人当たり市町村民所得の高い上北地域 …地域別1人当たり市町村民所得](#)

各地域の 人口動態

- [自然動態 …地域別自然増減数](#)
- [社会動態 …地域別社会増減数](#)
- [地域別高齢単身世帯数](#)
- [将来推計人口\(東青地域\)](#)
- [将来推計人口\(中南地域\)](#)
- [将来推計人口\(三八地域\)](#)
- [将来推計人口\(西北地域\)](#)
- [将来推計人口\(上北地域\)](#)
- [将来推計人口\(下北地域\)](#)

域内総生産

- 各地域の域内総生産について、経済活動別に構成割合を見ると、上北地域を除いた5地域で第3次産業の割合が7割を超えており、特に、東青地域・下北地域では8割超と高くなっている。
- 地域別にみると、東青地域・中南地域・三八地域・西北地域は「卸売・小売業」、上北地域は「製造業」、下北地域は「公務」が大きな割合を占めている。



※産業分類
 第1次産業: 農業、林業、水産業
 第2次産業: 鉱業、製造業、建設業
 第3次産業: 電気・ガス・水道・廃棄物処理業、卸売・小売業、運輸・郵便業、宿泊・飲食サービス業、情報通信業、金融・保険業、不動産業、専門・科学技術、業務支援サービス業、公務、教育、保健衛生・社会事業、その他のサービス業

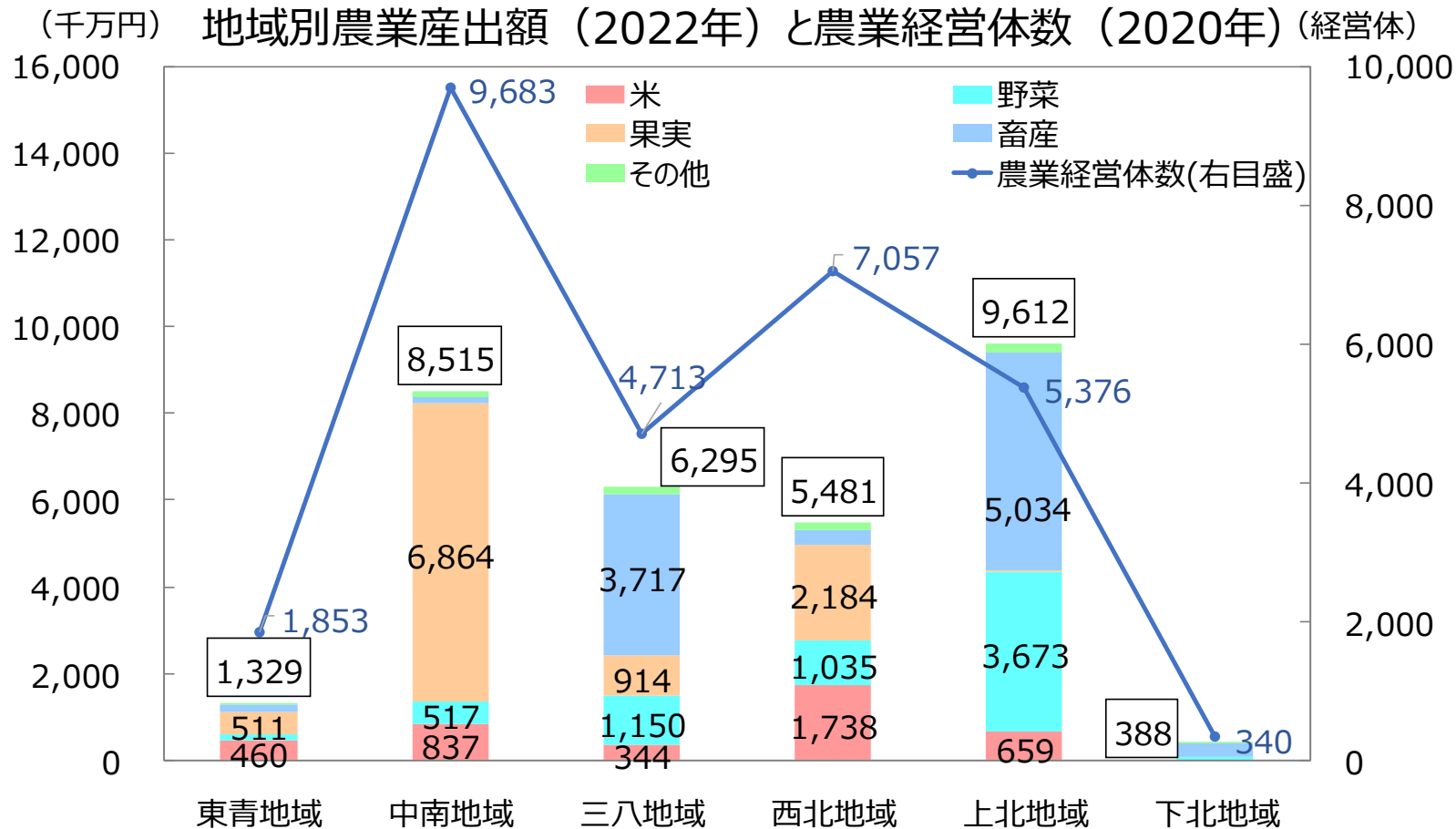
※ 不動産業について…総生産額の推計上、不動産業は「持家の帰属家賃」の影響が大きくなる。これは、持家の住宅から得られるサービスに相当する価値を見積もり、これを住宅費用とみなした場合に支払われるであろう家賃のことで、持家が多い地域ほど総生産額が高くなるが、実際には金銭の受払を伴わない。

※税等を控除していないため、合計は100%を超える。

資料：県総合政策部「令和4年度市町村民経済計算」

農業の盛んな上北・中南・三八・西北地域

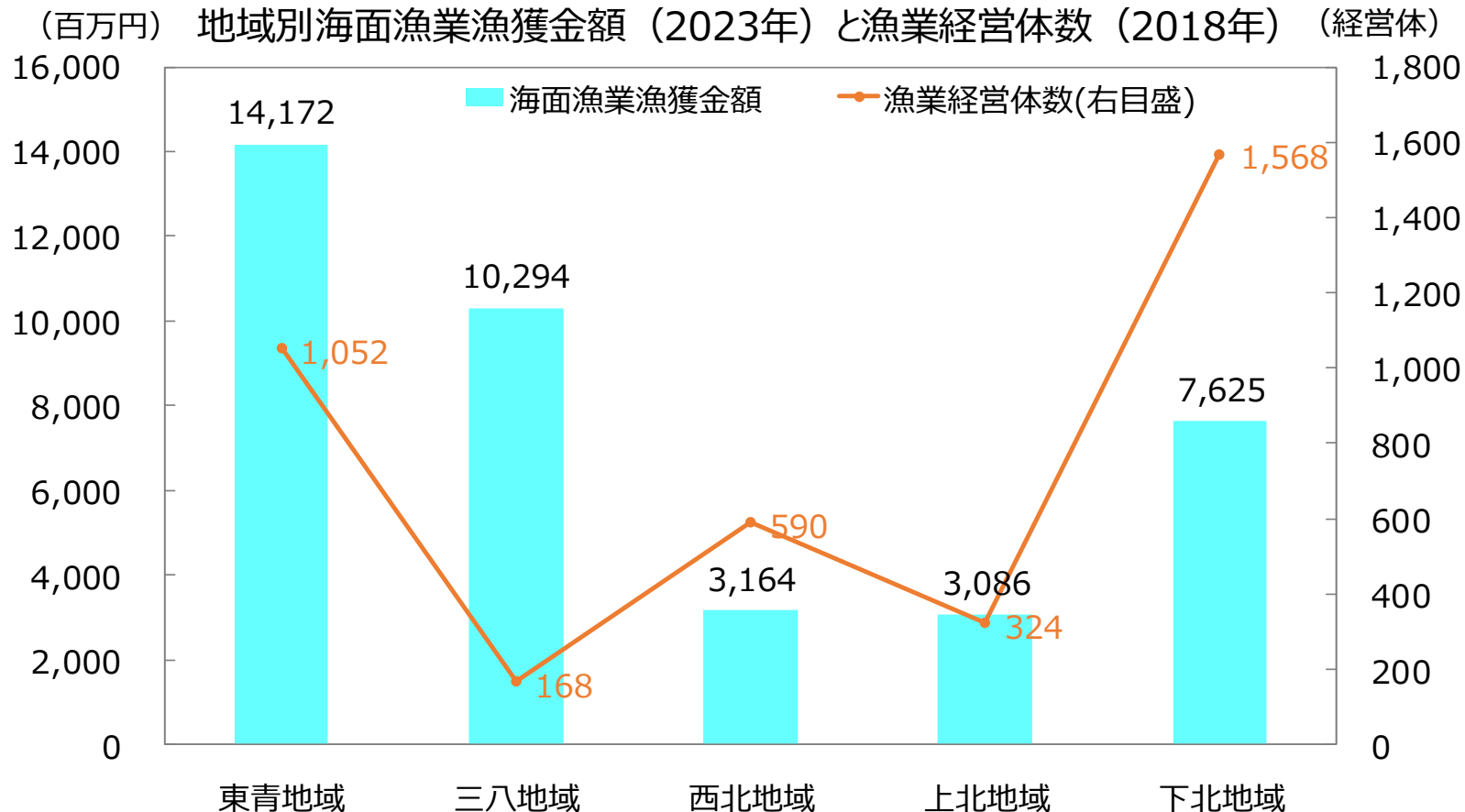
- 2022年の農業産出額は上北地域が最も高くなっており、県全体の約30%を占める。上北地域・三八地域は畜産や野菜、中南地域はりんごを中心とした果実、西北地域は米が多いなど、地域ごとに特長がある。
- 農業経営体数は中南地域が最も多く、次いで西北地域、上北地域の順となっている。



資料：農林水産省「市町村別農業産出額」、「2020年農林業センサス」

水産業の盛んな東青・三八・下北地域

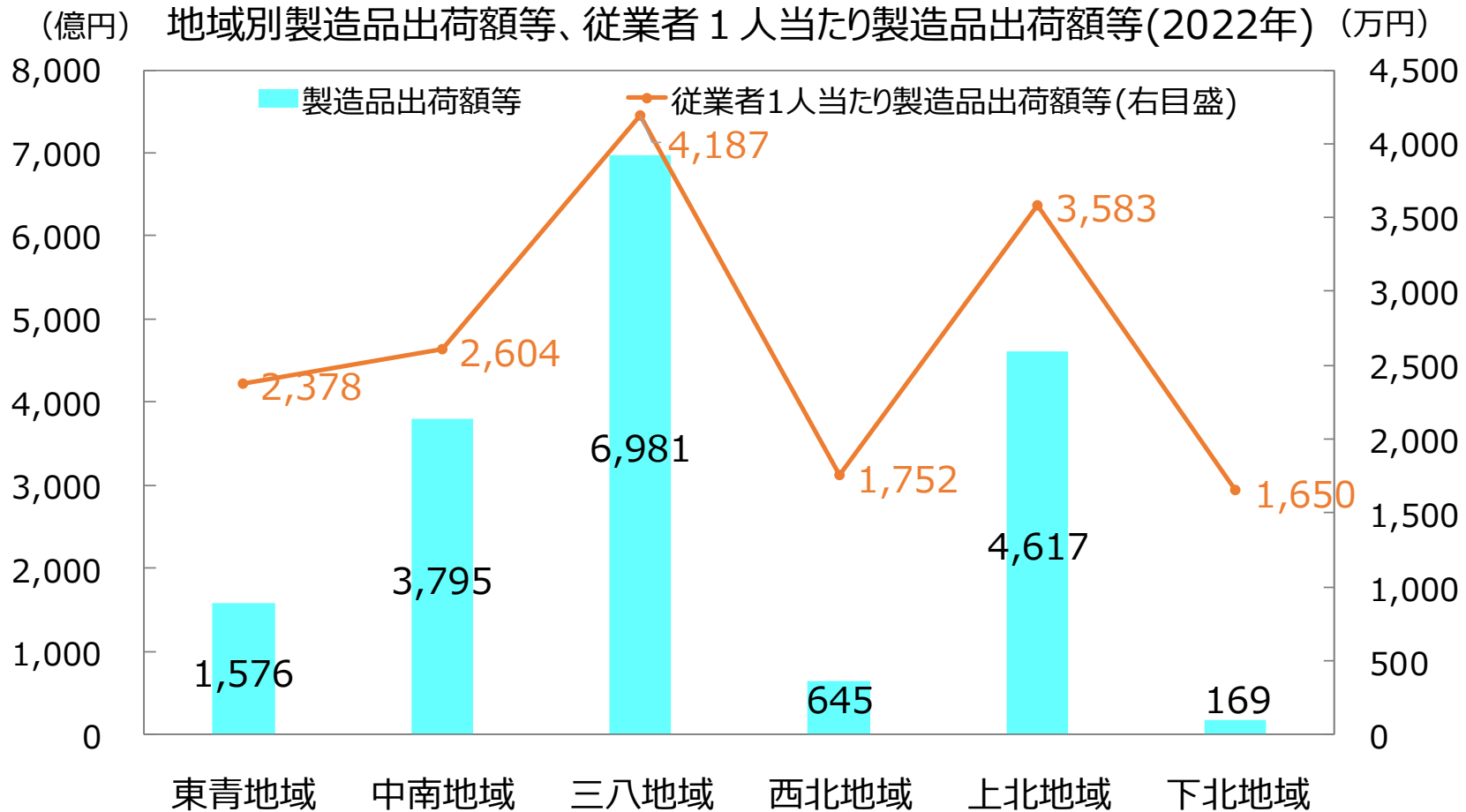
- 2023年の海面漁業漁獲金額は、東青地域が約142億円と最も高くなっており、次いで三八地域が約103億円となった。
- 大規模経営体が多い三八地域は、他地域と比べて漁業経営体数は少なくなっている。



資料：県農林水産部「令和5年青森県海面漁業に関する調査結果書（属地調査年報）」、農林水産省「2018年漁業センサス」

製造業の盛んな三八・上北地域

- 2022年の製造品出荷額等は、八戸市での食料品、飲料・飼料、パルプ・紙、鉄鋼などの出荷額が多い三八地域が6,981億円と最も高く、県全体の約39.3%を占めている。
- 従業者1人当たりについても、三八地域が最も高く、次いで上北地域となっている。

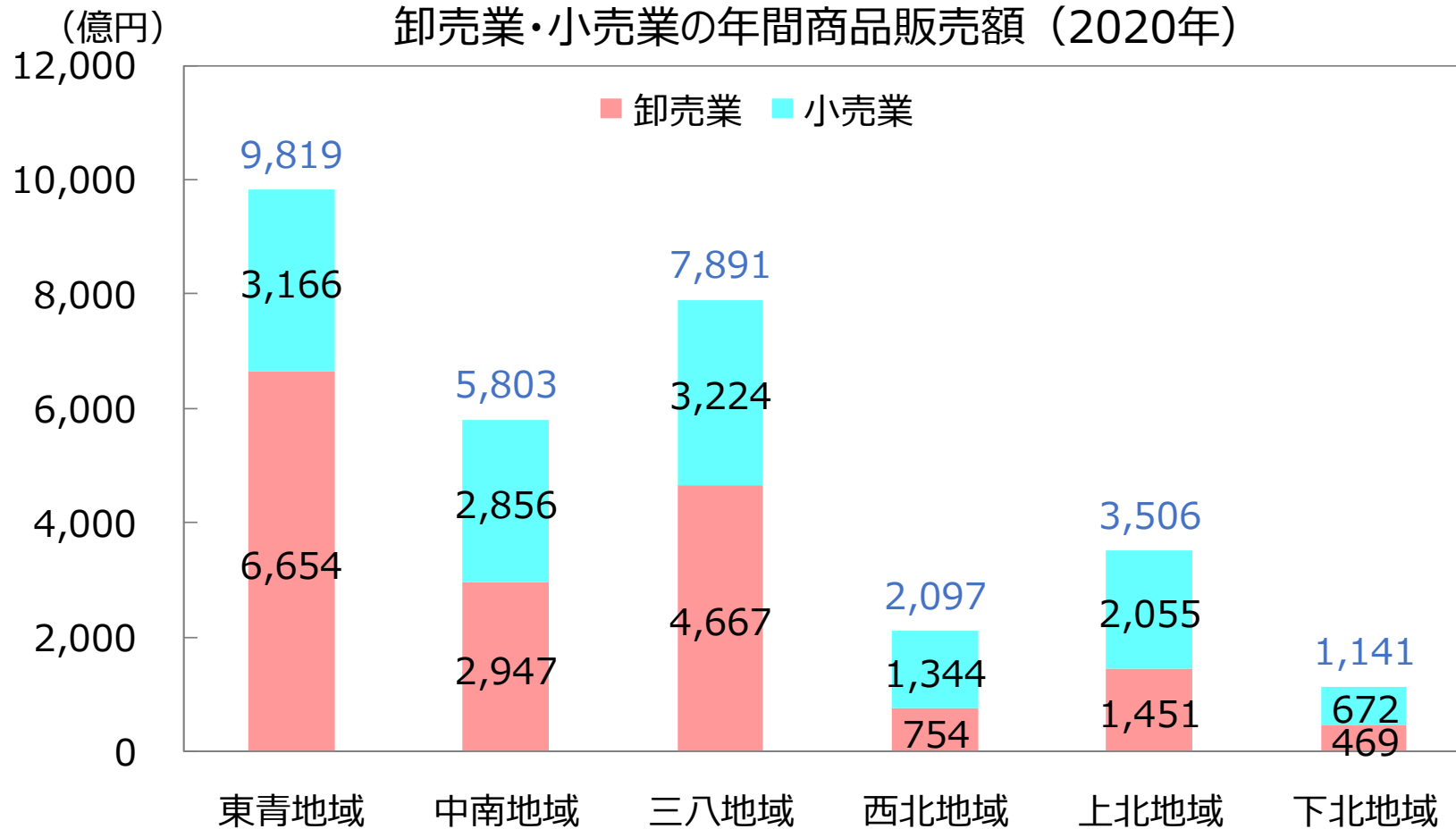


※地域別製造品出荷額等には秘匿分を含まない。

資料：経済産業省「経済構造実態調査」

商業の中心地・東青地域

- 2020年の小売業・卸売業年間商品販売額をみると、東青地域が9,819億円と最も多く、県全体の約32.5%を占めている。

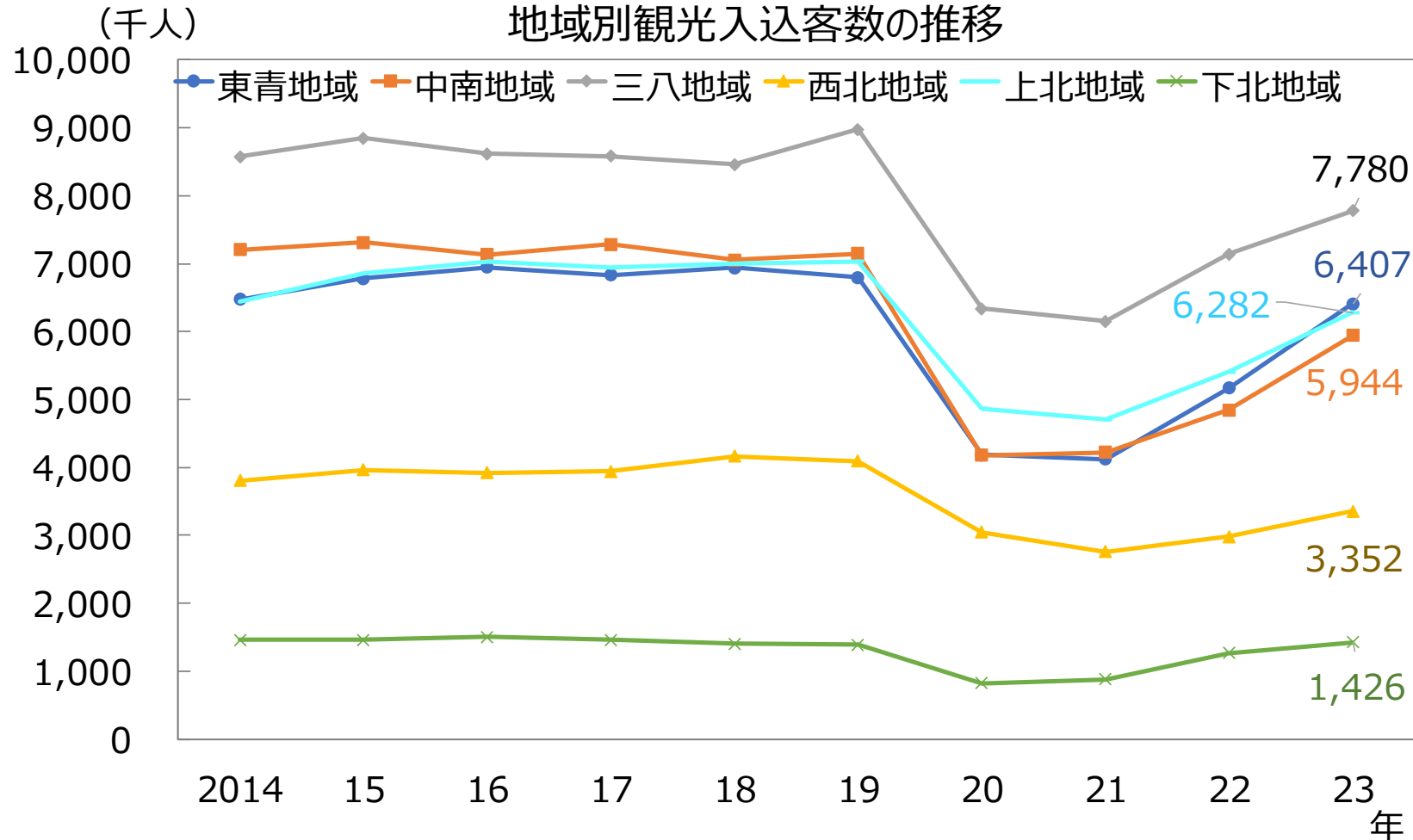


※秘匿分を含まない。

資料：県総合政策部「令和3年経済センサス活動調査_卸売業・小売業_青森県結果書」

観光客が多く訪れる三八地域

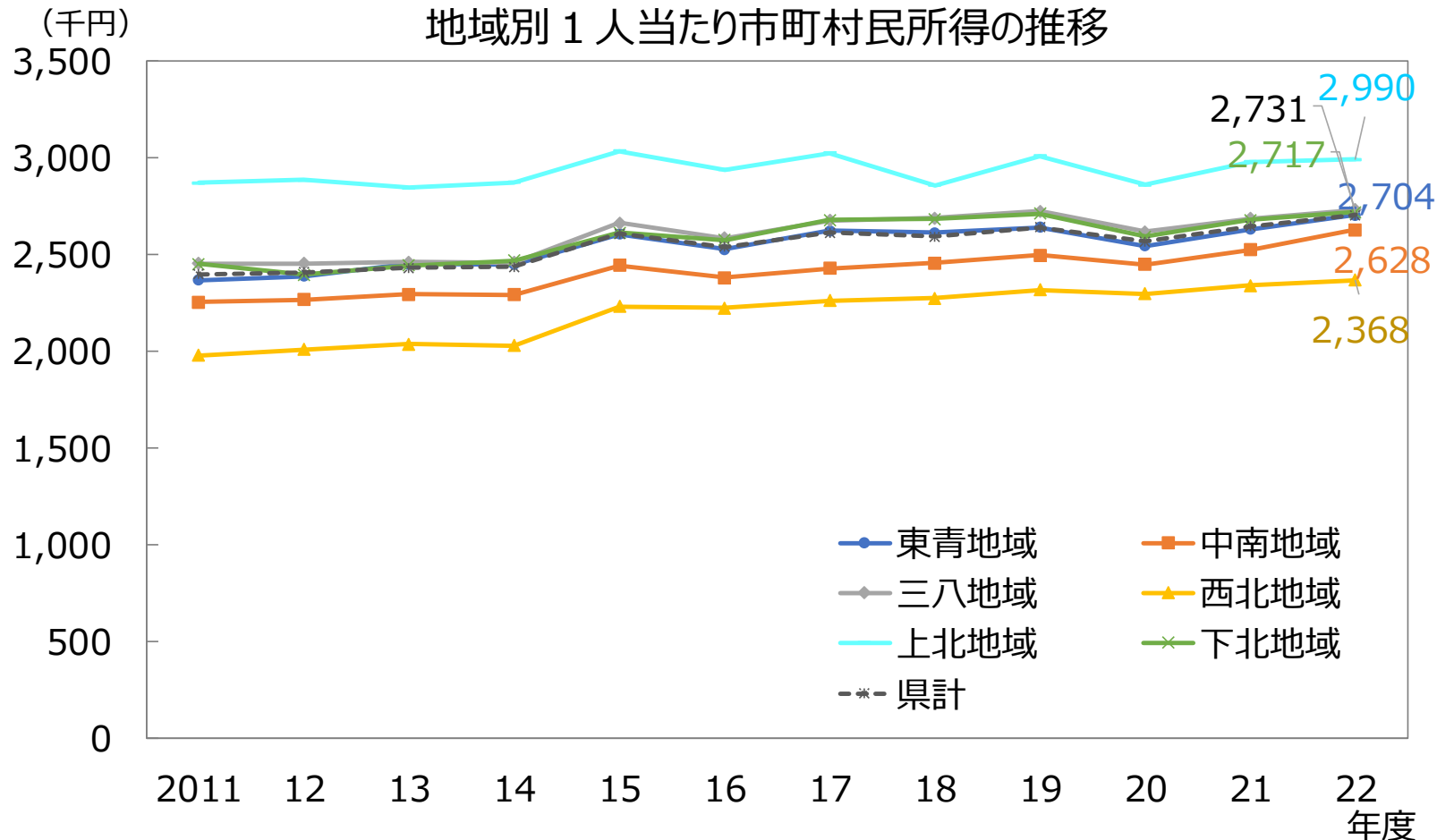
- 2023年の県の観光入込客数は、概ね全ての地域で新型コロナウイルス感染症の影響から回復してきている。
- 地域別では、三八地域の観光入込客数が最多となっている。



資料：県観光交流推進部「青森県観光入込客統計」

1人当たり市町村民所得の高い上北地域

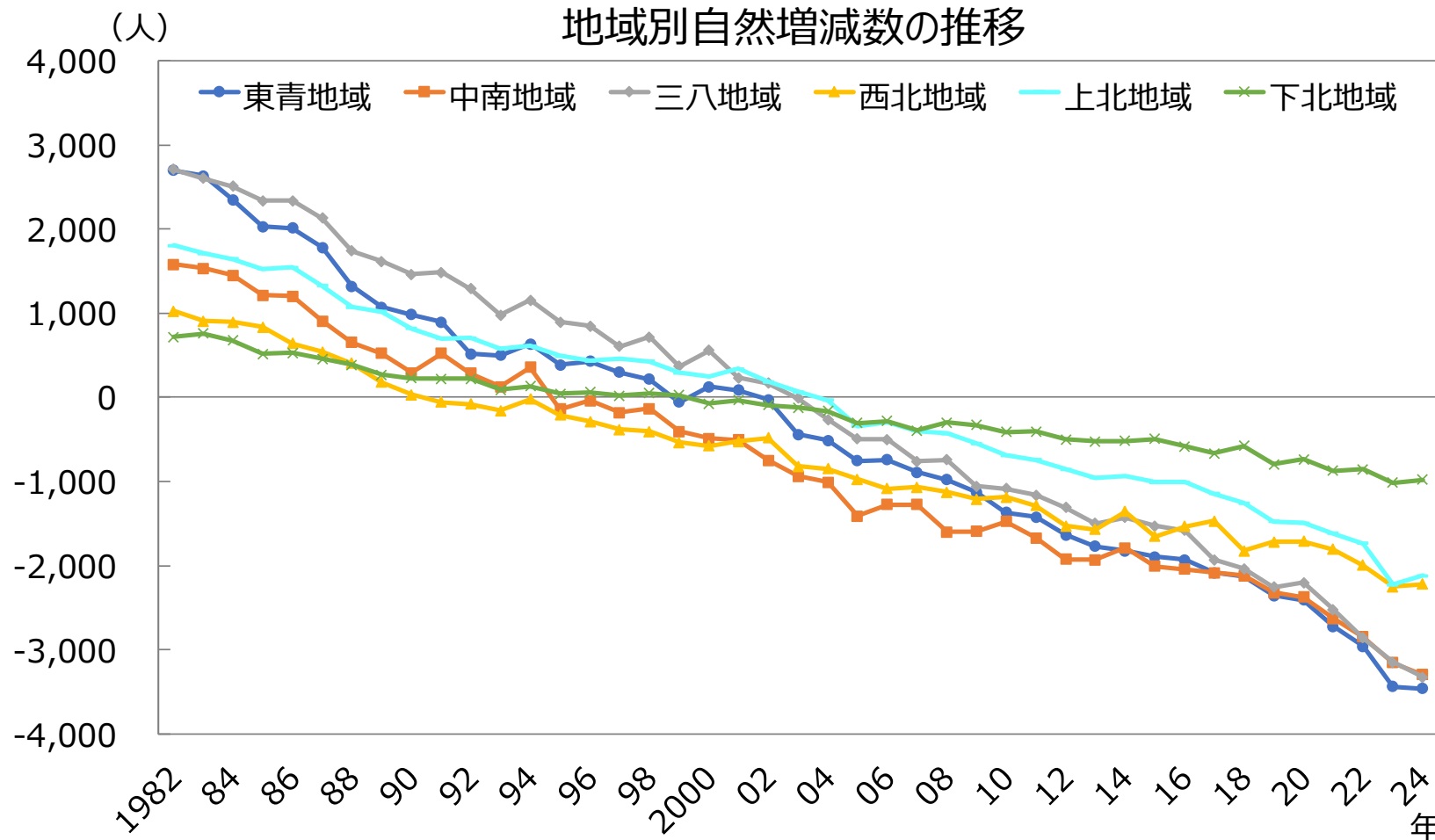
- 2022年度の市町村民経済計算における1人当たり市町村民所得は、六ヶ所村、東通村、三沢市、横浜町の順に高くなっている。
- 地域別では上北地域の2,990千円が最も高く、次いで三八地域2,731千円、下北地域2,717千円となっている。



資料：県総合政策部「令和4年度市町村民経済計算」

自然動態

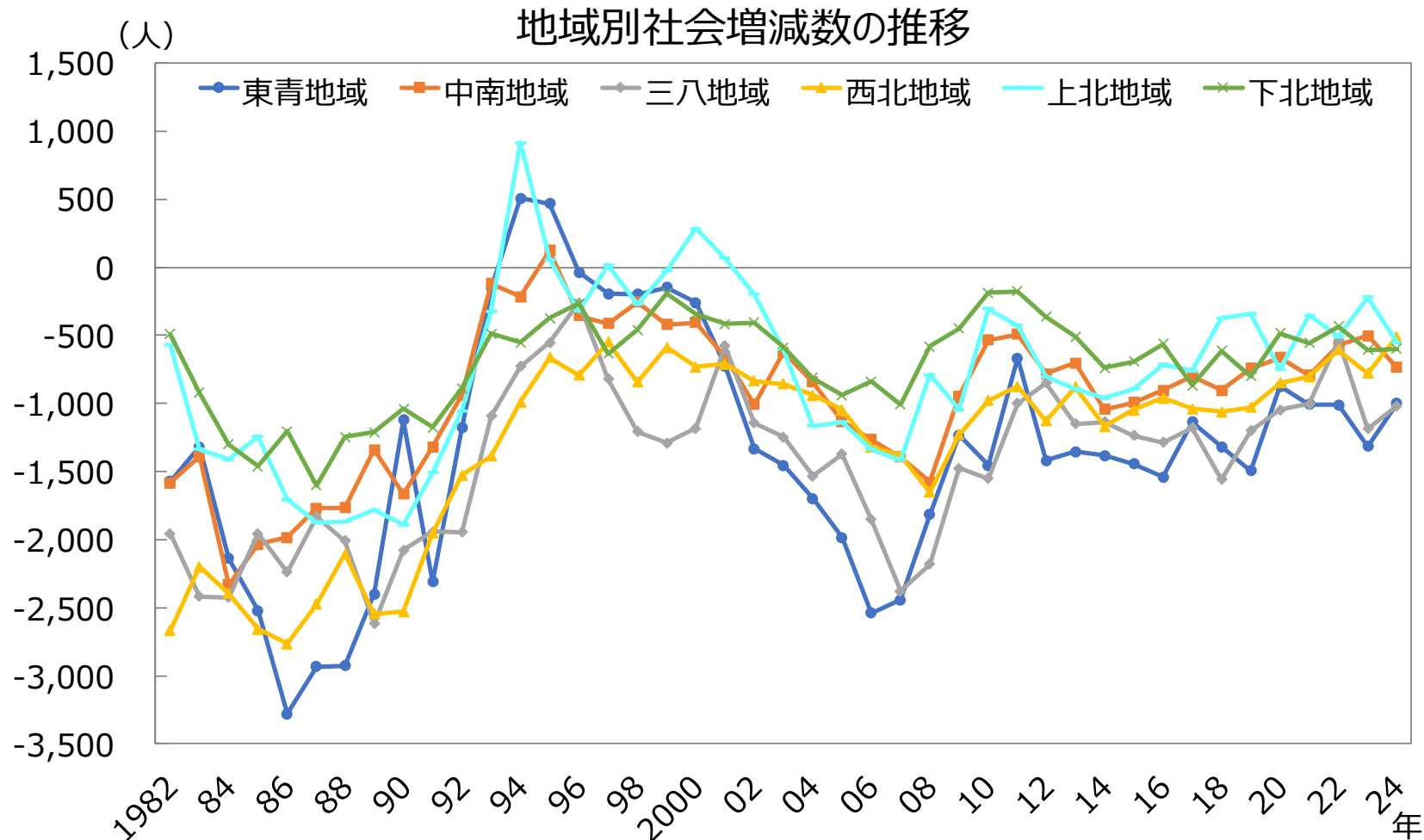
- 自然動態(出生数-死亡数)は、西北地域が他地域に先駆けて1991年から自然減に転じた。全県的に自然減に転じたのは1999年であったが、三八地域は2003年、上北地域は2004年と、比較的遅い段階で自然減となり、その後は、全ての地域において自然減が続いている。



資料：県総合政策部「青森県の推計人口年報」

社会動態

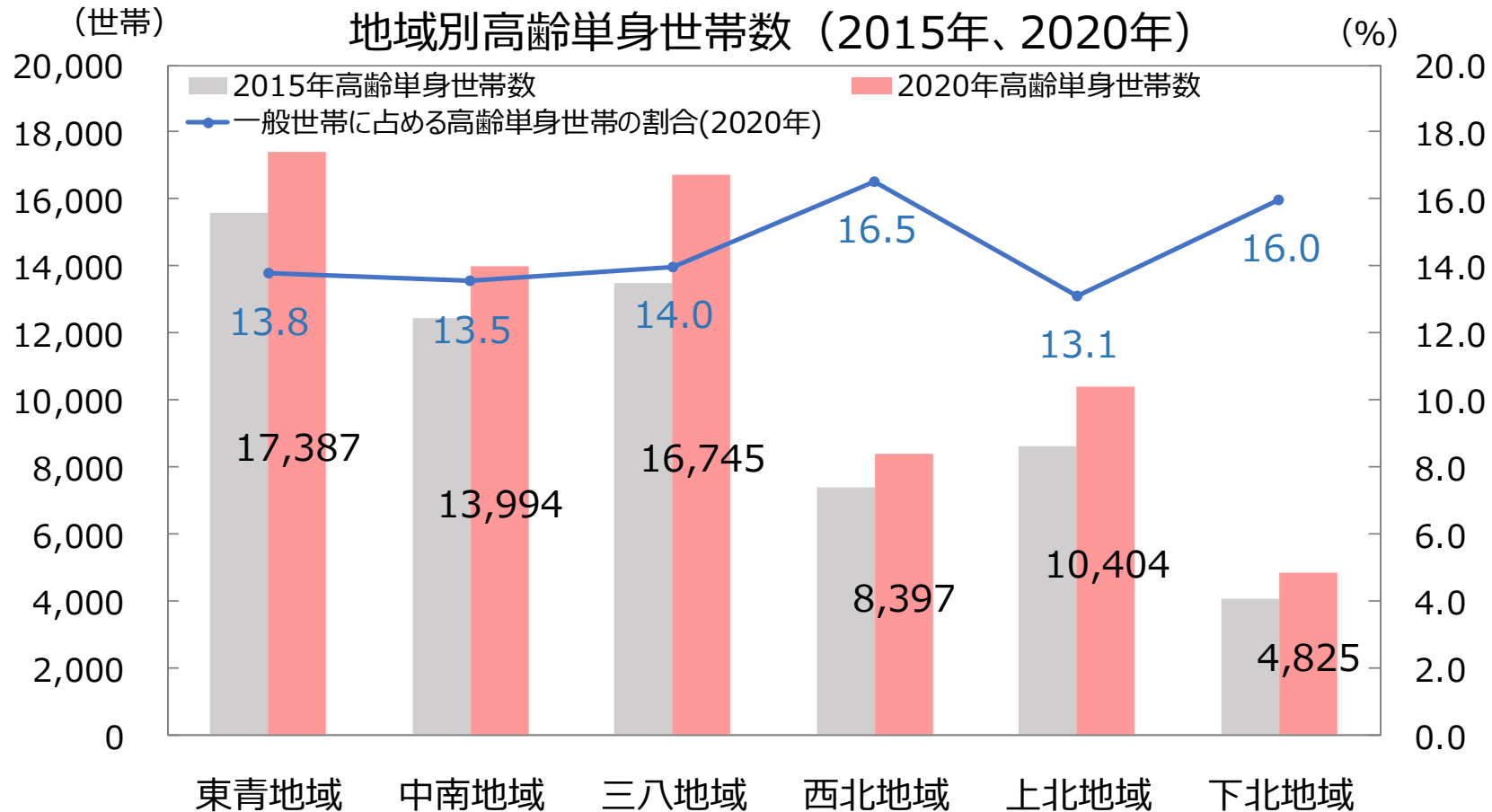
- 社会動態(転入者数-転出者数)では、特に東青地域や上北地域において年ごとに大きな変化が見られ、経済情勢等による影響を大きく受けているものと考えられる。三八、西北、下北地域では1980年以降一貫して、2002年以降は全ての地域において社会減が続いている。



資料：県総合政策部「青森県の推計人口年報」

高齢単身世帯数と割合

- 高齢単身世帯(65歳以上の単独世帯)数を2015年と2020年とで比較すると、全ての地域において増加している。
- 2020年における高齢単身世帯数の割合は、西北地域が最も高くなっている。

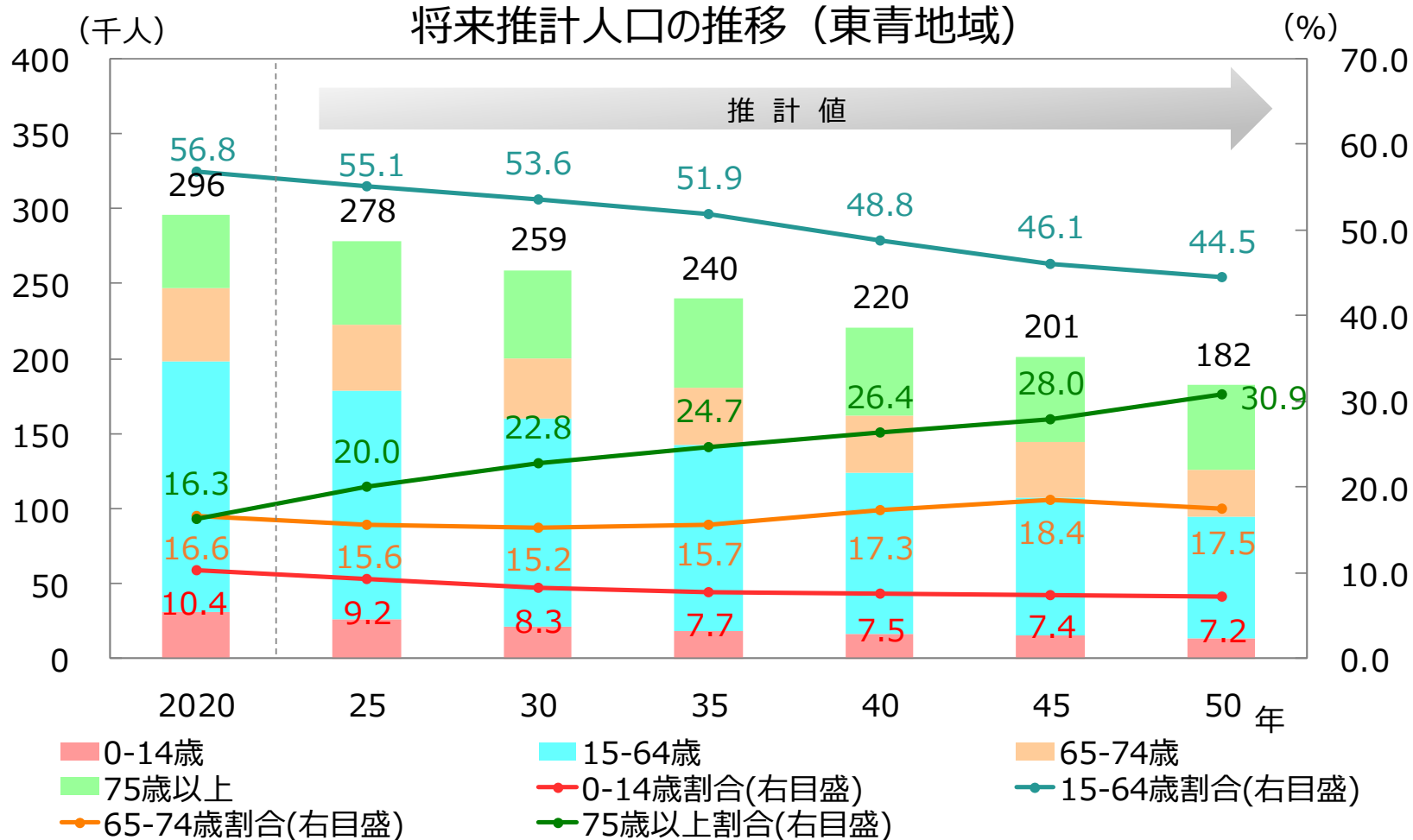


※「一般世帯」とは、「施設等の世帯」以外の世帯をいう。「施設等の世帯」とは、学校の寮・寄宿舎の学生・生徒、病院・療養所などの入院者、社会施設の入所者、自衛隊の営舎内・艦船内の居住者、矯正施設の入所者などから成る世帯をいう。

資料：総務省「国勢調査」

将来推計人口(東青地域)

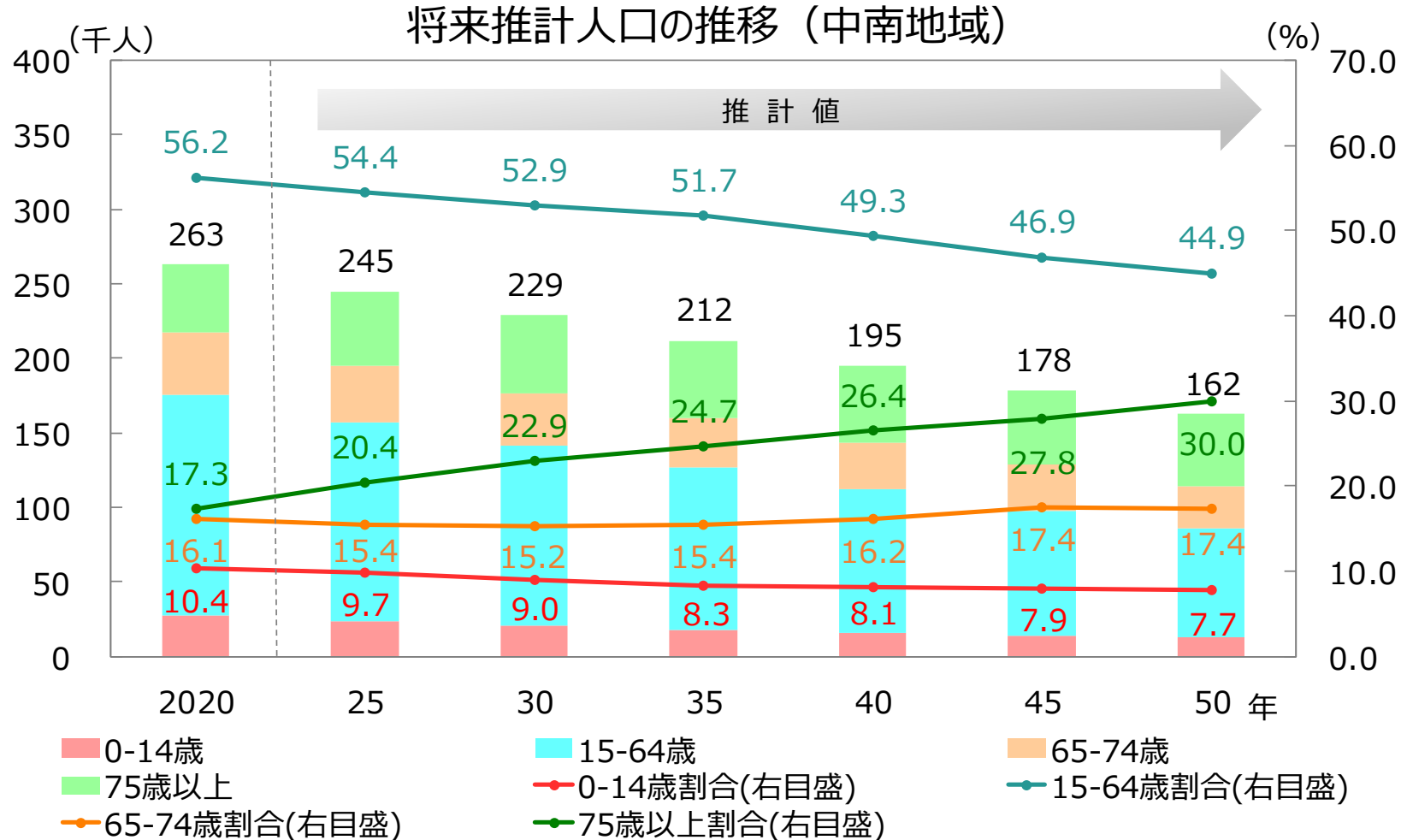
- 東青地域の人口は、2050年には18万2千人となり、2020年と比べて約11万4千人減少すると推計されている。また、75歳以上の人口の割合は、2020年から14.6ポイント上昇し30.9%になると推計されている。



資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5(2023)年推計)」

将来推計人口(中南地域)

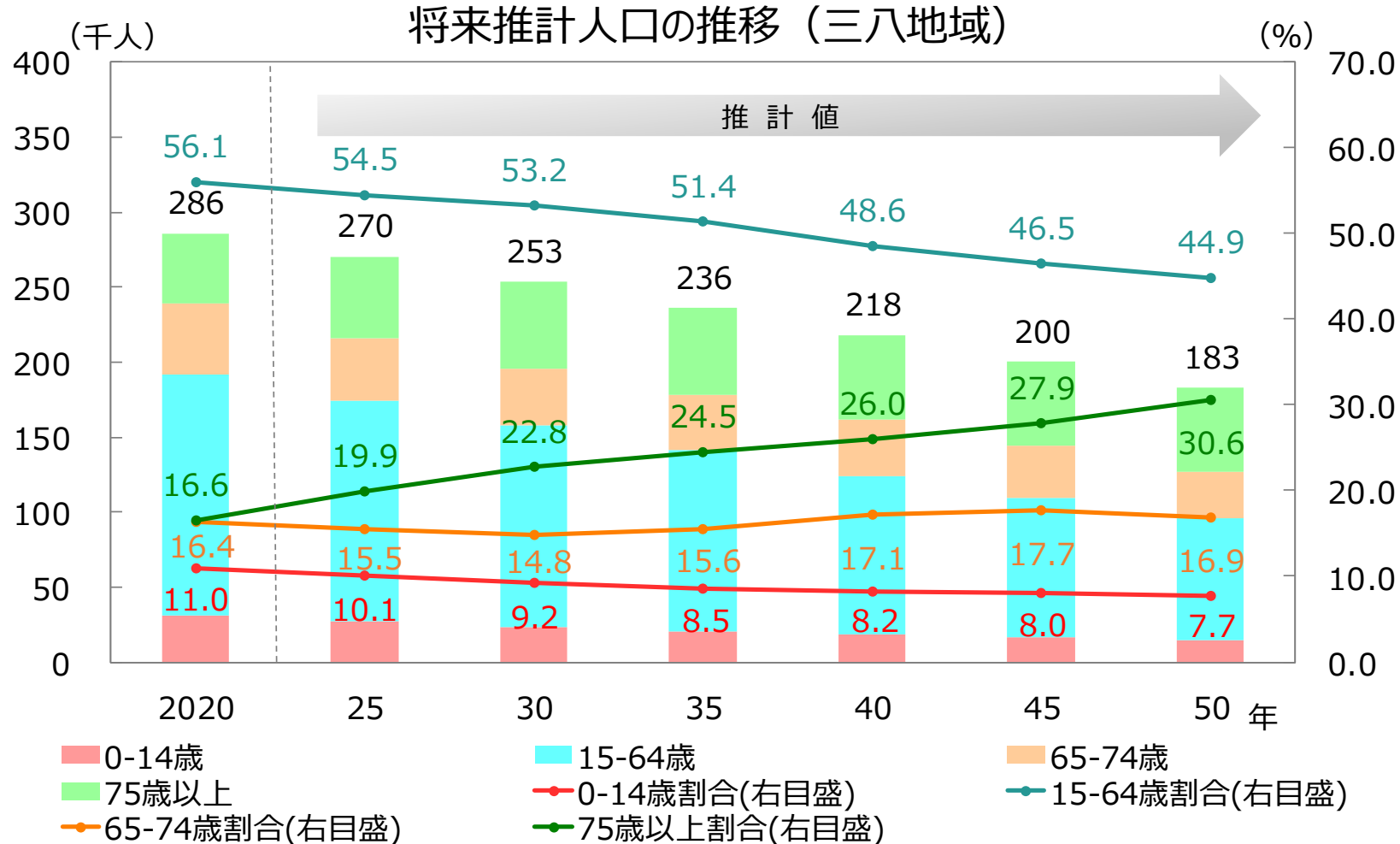
- 中南地域の人口は、2050年には16万2千人となり、2020年と比べて約10万1千人減少すると推計されている。また、75歳以上の人口の割合は、2020年から12.7ポイント上昇し30.0%になると推計されている。



資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5(2023)年推計)」

将来推計人口(三八地域)

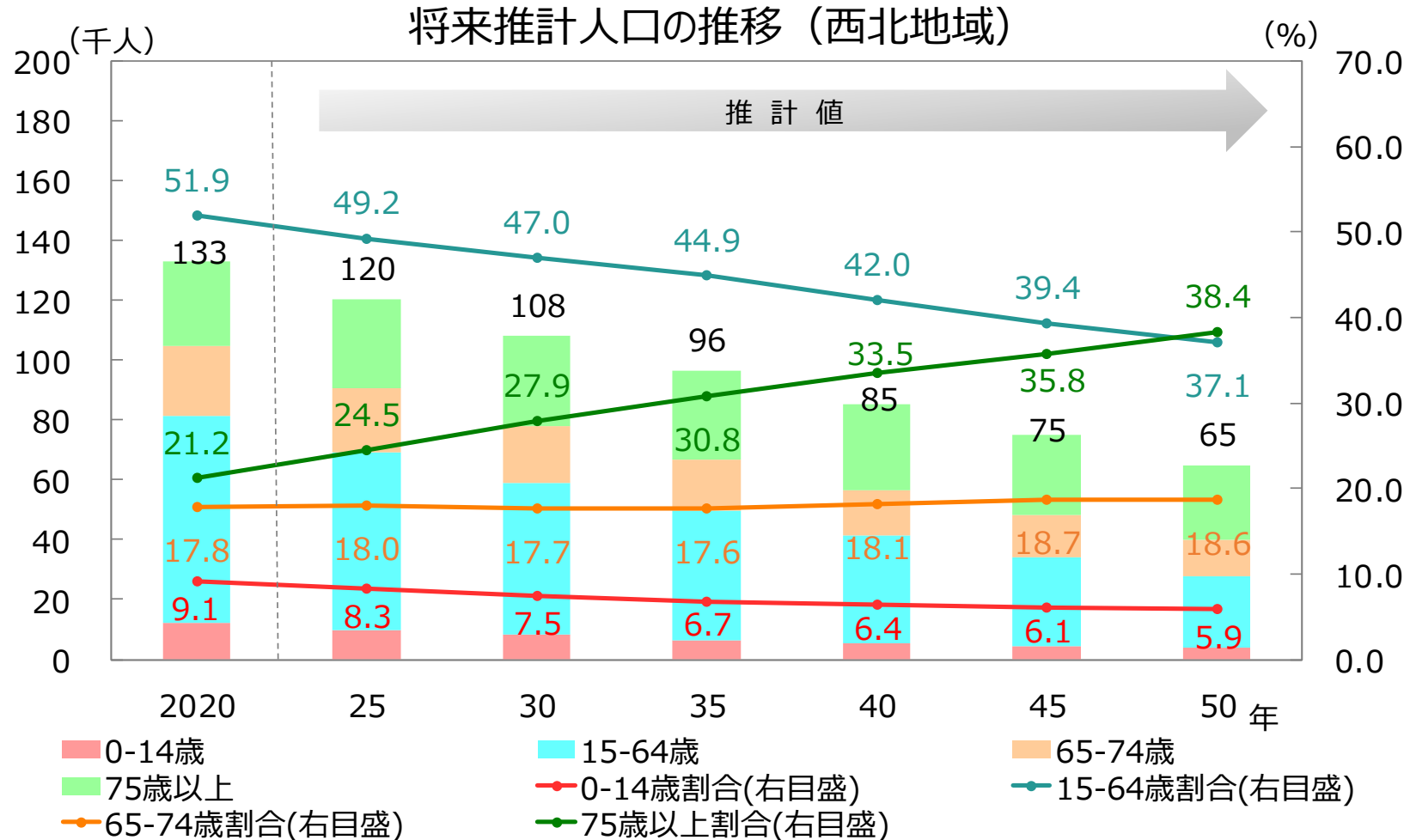
- 三八地域の人口は、2050年には18万3千人となり、2020年と比べて約10万3千人減少すると推計されている。また、75歳以上の人口の割合は、2020年から14.0ポイント上昇し30.6%になると推計されている。



資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5(2023)年推計)」

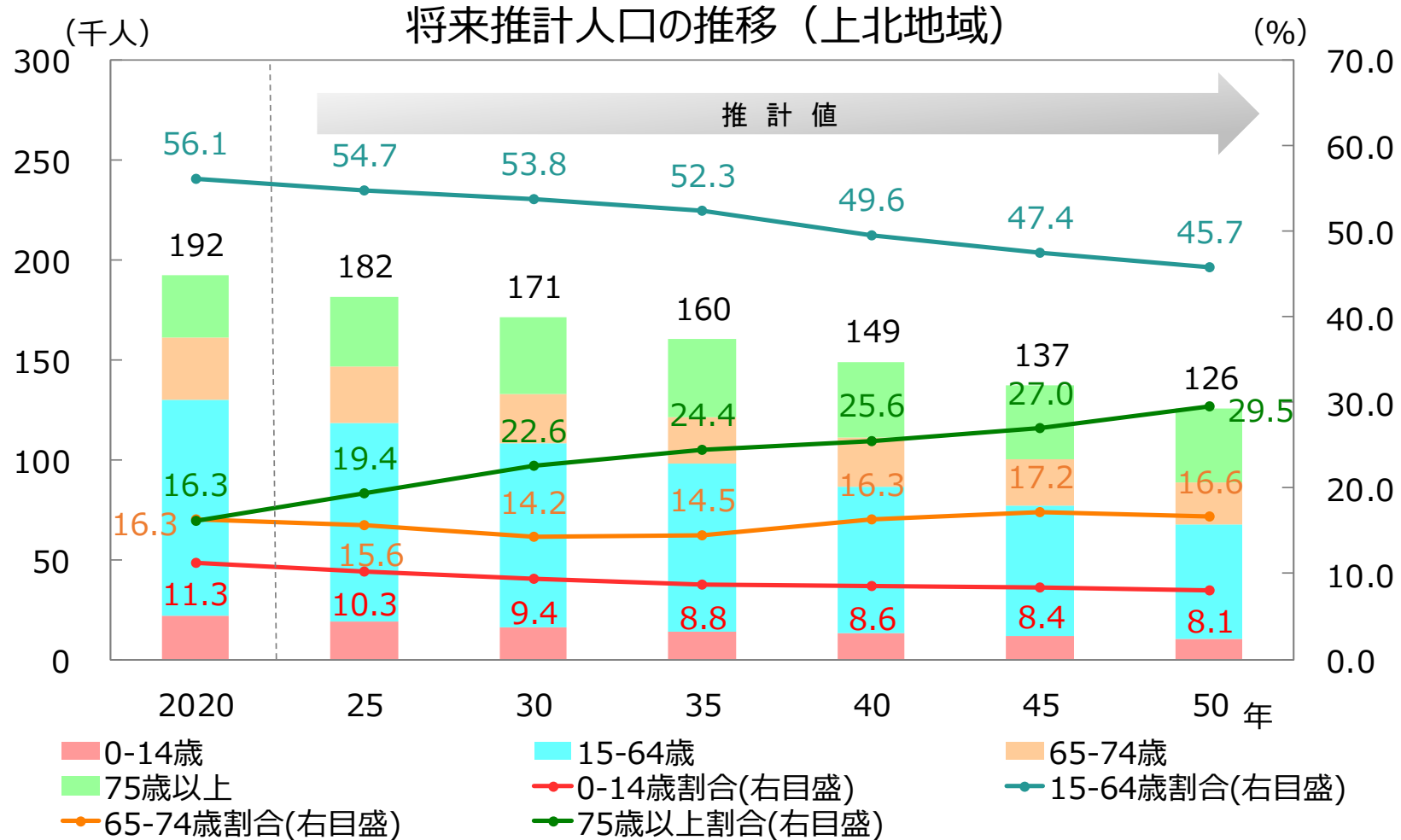
将来推計人口(西北地域)

- 西北地域の人口は、2050年には6万5千人となり、2020年と比べて約6万8千人減少すると推計されている。また、75歳以上の人口の割合は、2020年から17.2ポイント上昇し38.4%になると推計されている。



将来推計人口(上北地域)

- 上北地域の人口は、2050年には12万6千人となり、2020年と比べて約6万6千人減少すると推計されている。また、75歳以上の人口の割合は、2020年から13.2ポイント上昇し29.5%になると推計されている。



将来推計人口(下北地域)

- 下北地域の人口は、2050年には3万7千人となり、2020年と比べて約3万1千人減少すると推計されている。また、75歳以上の人口の割合は、2020年から15.3ポイント上昇し32.7%になると推計されている。

